

絵・文字・手話・歌で奏でる「いけす」「桃と桜」
ユニバーサルデザイン出張舞台企画書

イベント主催者の応募を募ります。

主催：特定非営利活動法人MAMIE みきまる座

目的：聴覚障害を持った子が生まれたとき、親はどう受け止め育てていったかを障害の有無に関わらず楽しめられるよう、絵・文字・手話・歌で奏でます。コロナ渦により更に孤立している聴覚障害者の困り事をひとりでも多く知ってもらい、両者が社会参加しやすい環境を作ることによって障がい者福祉向上を目指す。

内容：【いけす】50分【桃と桜】50分※1公演でも可

※手話通訳はMAMIEでご用意いたします。


条件①グッズ販売が可能な会場

条件②会場はご依頼様をご用意

条件③参加者20人以上集まることが可能

条件④募金箱設置が可能

条件⑤日時は2022年6月～2023年3月まで（相談応）



絵・文字・手話・歌で奏でる「いけす」

演出・小原延之 絵・原作 安藤美紀

歌語演キ
手り技ヤ
安吉安
藤田藤
一成眞
成美紀

演題「いけす」
もし、障害のある子が生まれたら…。あなたはどう受け止めますか？
50年前の実話を元にイラスト・手話・音・文字で奏でるUD（ユニバーサルデザイン）舞台を通じてNPO法人MAMIE 劇団「みきまる座」が障害についての啓発活動をしています。

「いけす」あらすじ
昭和42年、沖縄ではひそかに風疹が流行っていた。アメリカ本土から米軍基地に広がったのである。当時400人の妊婦が風疹にかかった為、生れた子の多くが聴覚障害を持った。当時、鹿児島県では障がい児が生れると家族で心中するなど、悲惨な事件が少なくなかった。そんな中、鹿児島県のある港の近くで赤ん坊が産声をあげる。

■舞台監督/河村都 ■音響/大西博樹 ■照明/公文名創
■撮影/花澤結奈 ■編集/サカイヒロト ■制作/秋津ねを

安藤美紀
1969年鹿児島県生まれ。大阪在住。東京純心女子短期大学卒業。聴導犬ユーザー。NPO法人MAMIE代表者。日本聴導犬パートナー代表。公益社団法人日本聴導犬推進協会理事。鹿児島補助犬プロジェクト副理事長。「みきまる座」座長。イラストレーター。漫画家。聴覚障害と聴導犬を広めるため全国各地で講演・公演活動しています。

みきまる座HPは



絵・文字・手話・歌で奏でる「桃と桜」

演出 小原延之 原作 安藤美紀

歌手 安藤一成
演者 立石富士子
キャスト 安藤美紀

演題「桃と桜」
もし、障害のある子が生まれたら…。あなたはどう受け止めますか？
50年前の実話を元にイラスト・手話・音・文字で奏でるUD（ユニバーサルデザイン）舞台を通じてNPO法人MAMIE 劇団「みきまる座」が障害についての啓発活動をしています。

「桃と桜」あらすじ
我が子が生まれつき聴こえないとわかった母親は生まれた故郷を出てろう学校のある鹿児島市で育てることを決める。そこでの生活は想像を超えるものでした。時代に振り回されながらもなんとしても我が子の為にと母親がぶれずに凛と生きてこられたのは…。

■舞台監督/河村都 ■音響/大西博樹 ■照明/公文名創
■撮影/サカイヒロト ■制作/秋津ねを

安藤美紀
1969年鹿児島県生まれ。大阪在住。東京純心女子大学卒業。聴導犬ユーザー。NPO法人MAMIE代表者。日本聴導犬パートナー代表。公益社団法人日本聴導犬推進協会理事。鹿児島補助犬プロジェクト副理事長。「みきまる座」座長。イラストレーター。漫画家。聴覚障害と聴導犬を広めるため全国各地で講演・公演活動しています。

お問い合わせはMAMIEみきまる座まで
〒532-0011大阪市淀川区西中島3丁目2-8 新和ビル9F
TEL06-6886-4141 FAX06-739-5360



このリーフレットは「NHK歳末たすけあい」の助成を受けて作成したものです。

2021年度のみきまる座の実績

2021年4月14日「ナミねえ」こと竹中ナミさんが主催する「ユニバーサル社会を創造する事務次官プロジェクト（勉強会）」を防衛省会議室にて「桃と桜」を披露



2021年12月19日（日）
新烏飼公民館、集会室にて「いけす」舞台を披露させて頂きました。
主催は摂津市立新烏飼公民館様、共催は摂津市人権協会二中校区推進委員会様です。



2022年3月19日（土）
高槻市のふれあいセンターにて、みきまる座の「桃と桜」公演を披露
主催は高槻市人権まちづくり協会様です。

